

水源の保護をどう考えるのか

生活影響調査の結果で予想評価をしていく

茂木 祐司 議員



考えか。

生活環境課長 ゴミ焼却場

建設予定地の周辺には、寺沢水源、蟻ヶ沢水源、浅麓水道の深井戸、佐久水道の水源がある。

給水地域は寺沢、塩野、馬瀬口、三ツ谷、旭町、小

諸市乗瀬、清万、一里塚、西軽井沢、雪窓周辺、工場団地で、3千246世帯である。

水源への影響の判断は、

現在、環境省が義務づけている生活影響調査をおこなっており、焼却施設のところや規模が決まったところで、環境への影響の予想評価をしていくものである。

問 ゴミ焼却場の建設予定地である苗畑跡地の周辺は、3千200世帯の水道の水源がある。さらに、浅麓水道企業団にも水を供給しており、御代田町だけでなく軽井沢や佐久市の重要な水道水源になっている。全国的にも水道水源の汚染がすすんでいるなかで、浅間山麓の豊かで良質な水源を、町はどのように守っていく



合併50周年 これからの町の課題は

まずは歳入歳出のバランスを

内堀千恵子 議員



問 今年は、旧3村が合併し、御代田町制50周年の節目の年である。合せて第4次長期振興計画の初年度である。これからの町の課題は何か。又、自立した町の今後の人材育成・人間教育の場をどの様に考え進めていくかを問う。

町長 課題としては、まず

歳入歳出のバランスを取っていくことである。

18年度予算では、4億円もの基金繰り入れか起債を起しておかなければ予算が組めない現状である。少子化社会では後年度負担を少なくしていくためにも現役世代の我々の責任は重いと思う。そのために持続あるまちづくりをしていくうえで、基本的な体制と、最低限の施設は必要である。



その中の一つに、ごみ処理施設がある。町ではきちっと整備をし、安心・安全・安定の運営をしていく。**教育長** 学校教育での教師の影響は大きい。教師の力量を高めるため、学年会、職員会等を行い、授業を研究し合う研究会も行っている。中学校では目的を持って進学ができるよう進路学習の計画をたて、実体験を通して学んでいる。部活動は人間をつくる大事な面がある。知育・徳育・体育の一番の基礎となる食育の推進を家庭と地域と連携して、取り組み始めている。